



【待ち受けた人々が「お帰りなさい」と手を振れば、日本丸も「また、よろしく」と、ばかりに応える】

伊王島に一泊しての大学同期卒業生の同窓会があった。

伊王島は今や長崎とは陸続き、天然温泉も備える立派なリゾート地となっている。

その伊王島を翌日の昼過ぎに発ち、長崎駅に向かうホテルの送迎バス。

長崎港のシンボル・女神大橋に差しかったとき、このシーンに遭遇した。

この日、4月20日から長崎は毎年恒例の「帆船まつり」が始まる。

これに合わせ、帆船「日本丸」が、まさに長崎港の玄関で、その華麗な容姿を見せてくれたのである。

この後、少し行っの松枝（まつがえ）埠頭では世界最大級豪華客船クワンタムオブザシーの見上げるばかりの白亜の船体が待ち受ける。

長崎港には、この祭りのために集結した数々の帆船が停泊し、穏やかな午後の海面を上品に彩る。

同窓生は長崎以外の遠方から来たものが殆どであり、その誰もが、改めて港（みなと）長崎のよさを心に強く残したものと思う。そして今回の楽しい思い出ともに、ここでの次の再会を胸に長崎をあとにした。